

特記仕様書： 共通事項・仮設工事									
項目		① 共通事項							
特記仕様		1. 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、三重県公共工事共通仕様書及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (平成31年度)」による。(以下「標準仕様書」という。)による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。 電気設備工事の工事仕様書は (E /) 図、機械設備工事の工事仕様書は (M /) 図による。 (3) 改修工事を本工事に含む場合は、改修工事は改修工事の工事仕様書を適用する。 改修工事の工事仕様書は (T /) 図による。 (4) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査 (同法第7条の3の定めによる中間検査を含む) 時には、特定行政庁 (建築主事等) が求める検査に必要な資料 (報告書等) を用意すること。 2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項の中で選択する事項 (・印の付いたもの) は、○印の付いたものを適用する。 (3) 特記事項に記載の「」内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 重要施設に係る地震防災増強化地域内における工事については「大規模地震対策特別措置法」による注意措置が盛り込まれた場合、受注者は人身の保護及び安全な建設に必要な補強、落下防止等の必要措置を講ずるとともに、工事中所の措置をとること。又この事項が発生した場合は、契約書第 6 条 (強固の措置) によって処理されたものとする。 (5) 重要施設等では「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・注・検査方法を明示している場合において、それが関係法令の改正等により (条件を含む) に抵触する場合には、関係法令等の遵守 [1.1.3] の規定を優先する。							
項目		特記事項							
① ① 適用基準等		建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修 (平成28年版) 各図面において、(○-○-○) 内の数字は適用する上記詳細番号を示す。 工事写真の撮り方 (改訂第二版) 建築編 建設大臣官庁官庁営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書同解説 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (平成31年版) ・ 三重県建設財産処理処理基準 ② 工事実績情報の登録 諸費代金額が600万円以上 (消費税込込み) の元請負人は、工事実績情報 (財) 日本建設情報総合センターの工事実績情報システム (CORINS) に登録するものとする。 なお、登録内容を訂正する必要がある場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。 また、変更契約日と工事完了日の間が、10日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。 ③ 仮設工期 総合試運転調査を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね (7) 日前までに交際ののない状態で完了していること。 ④ 適用する ⑤ 施工条件 ⑥ 発生材の処理等 ⑦ 環境への配慮							
⑦ 環境への配慮		化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所定の品質及び性能を有すると共に、次の1) から5) を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用合板、集成材、単板積層材、MDF、ホルムアルデヒド、その他の不貫通材、ユーラネウム及び放射性物質を含むものとする。 2) 保通材、遮断材、断熱材はホルムアルデヒド及びホルムアルデヒド含有量を0.1%以下とし、ホルムアルデヒド含有量を0.1%							